

多形紅斑型薬疹

イトラコナゾール



57歳，男．みずむし治療を希望し来院．角質増殖型白癬ならびに両足第Ⅰ趾の爪白癬と診断しイトラコナゾール400 mgパルス療法を開始．1パルス終了後の翌日に両上肢，腹部に紅斑が出現．頸部，

軀幹を中心に痒みを伴う浮腫性紅斑が多発．口腔粘膜，眼球結膜に異常なし．両手指，顔面に軽度の浮腫を認めた．

(真木登喜世ほか：皮膚病診療 30：515, 2008)